

# 9月定例会市議会 9/18~9/28 補正予算案など13議案を可決

9月定例会市議会は、9月18日から28日までの11日間にわたって開会されました。  
今定例会では、今年度一般会計をはじめ各会計の補正予算案、それに市立総合病院使用料および手数料に関する条例の一部改正案など13件の議案、そのほか専決処分1件、認定2件を提出しましたが、閉会中審査とされた認定案2件（水道、病院事業決算）を除き、いずれも原案どおり可決又は承認されて閉会しました。  
以下、今定例会からその主なものについてお伝えします

## 一般会計は総額 93億1,059万4千円に

今年度一般会計に5億852万4千円が追加され、歳入歳出それぞれ93億1,059万4千円となりました。  
歳入の追加では、52年度からの繰越金が3億262万円と最も多く、ついで地方交付税の7,000万円、それに市債や財産収入などとなっています。  
また、歳出の補正としての主なものは次のとおりです。

- 児童福祉費 1,895万5千円  
下川浴保育所増築模様繕工事費、母子家庭住宅整備資金貸付金等へ
- 清掃費 3,914万6千円  
屎処理場修繕料追加及び屎貯留槽築造工事費等へ
- 農業費 2,145万7千円  
農業基盤整備費、山村振興費、水田利用再編対策費等へ
- 林業費 2,436万円  
林道舗装及び改良工事費、林業振興費等へ
- 道路橋梁費 1億799万5千円  
市道9路線の舗装新設及び改良工事費、橋梁補修工事費等へ
- 都市計画費 2,961万7千円  
街燈新設工事費、桂城公園歩道橋設置工事費追加、長根山総合運動公園野球場新設工事費追加等

- 消防費 1,156万1千円  
防火水槽新設工事費追加、消防車庫屋根改修工事費等へ
  - 教育費 1億9,388万5千円  
第一中学校本工事費追加、花園体育館新築事業費等へ
- また、都市計画事業特別会計には、1,085万3千円が追加され、その主な項目は、下代野下町線街路築造事業費への追加や長木川第4及び第7都市下水路の築造事業費への追加等となっています

## 市立病院手数料の 一部を改定

市立総合病院使用料及び手数料に関する条例の一部が改正され、分べん介助料や妊娠の診断及び検診料等が10月1日から引上げられます。  
これは、今年2月1日に医療費が改定されたことにより、保険給付外の手数料の額が実情に添わなくなったことを理由に改正されたものです。  
改正された手数料等は次のとおりです

- 分べん介助料  
正常、異常を問わず1回につき、午前8時30分から午後5時までの時間内は5万円、午後10時から翌朝6時まで及び休日7万円、これ以外の時間は6万円と料金は従前と変わりませんが、いままでは、産科セット等を含めた料金でしたが、今後は産科セット代として2千円が加算されます。  
その他は次のように改正されました。  
( )内は旧手数料  
・産切時 50,000円(45,000円)  
・流産時(5カ月から6カ月) 40,000円(35,000円)  
・分娩監視装置使用時の加算額 3,000円(1,500円)
- 人工妊娠中絶手数料  
・妊娠3カ月まで 25,000円(22,000円)  
・妊娠4カ月 50,000円(40,000円)  
・妊娠5カ月から6カ月まで 70,000円(60,000円)  
・上記のほか、投薬、注射、検査及び処置等は社会保険算定方法による料金とされます。

お忘れなく!

今月は  
市県民税第3期  
の納期です



議案説明する石川市長

- 妊娠の診断及び検診料  
・初診料 2,500円(2,000円)  
・定期検診料 2,000円(1,500円)  
・妊娠届出料 1,000円(据置き)
- 避妊リング処置料  
・挿入料 20,000円(15,000円)  
・抜去料 7,000円(5,000円)  
・抜去、挿入を同時に行った場合 24,000円(18,000円)
- 不妊手数料 60,000円(50,000円)
- 各種相談指導料 1,500円(1,000円)

## 長根山球場観覧場の 工事請負契約を締結

長根山運動公園の野球場建築工事の請負契約が今議会の議決により締結されました。  
来春オープン予定の長根山運動公園野球場は、工事も順調に進み、グラウンドの整地と内外野の土盛芝張スタンドも完成し、現在、メインスタンドの建設が行われていますが、このメインスタンド工事は指名競争入札により、丸山建設株式会社が7,900万円本体工事を進めていたものですが、このたび国庫補助額が増額されたことにより、さらに2,061万8千円の増工事も、同社との随意契約により行うことにしたものです。が当初及び今回を合わせると契約金額が9,000万円を超えることから、議会の議決を必要とし、今議会で提案されたものです。

## 議会だよりは11月号で

議会事務局からの定例会  
議会だよりは、編集の都合  
により11月号でお伝えし  
ます。

## 行政報告

9月定例会市議会が招集された9月18日、議案説明に先立ち石川市長から、6月定例会以後の主な事項についての行政報告がありました。その内容について市民の皆さんにお伝えします



市長 石川 芳男

### <屎処理場の放流水について>

この件につきましては、市民の皆さんをはじめ、関係方面にご心配、ご迷惑をおかけしたことは誠に申し訳なく思っております。その後の措置として、放流水の水質を改善すべく、まず消化槽の機能を1日も早く回復させることを急務とし、そのため、ある程度の減量投入を実施し、さらには青森下水道開発センターの脱水車を借上げし、消化汚泥、余剰汚泥の脱水、他市町村の施設から種汚泥の導入、施設全般にわたる点検をする一方、従来月1回の放流水検査を週2回にするとともに、生し尿、脱離液の検査もあわせて行い、放流水の適正維持に鋭意努めてまいりました。その間一時、期待どおりの放流水が保てないときもありましたが、その後消化槽の機能も順調に回復し、基準値を保つことができ現在に至っております。なお、当施設の減量投入により余った生し尿は鹿角衛生処理組合のご厚意により、鹿角の施設に投入を

お願いしておりますので、あわせてご報告いたします。  
そこで今後の課題は、徐々に投入量を増加することありますが、また以前のようなことを繰り返さぬよう、現在貯留槽の建設を急いでおり、さらに斯界の権威といわれている日本環境衛生センターに依頼し、施設の機能診断を実施しております。すでに9月6日、7日の両日にわたり現地調査を終りましたので、この診断結果により早急に今後の対策をたて、これに対処してまいりたいと考えております。

### <白沢営林署の存置について>

さき秋田営林局から林野庁の国有林事業改善計画により白沢営林署を廃止し、大館営林署に統合する計画が発表されました。  
花矢地区は昭和42年に大館市と合併したときは、人口1万3千人をこえたものですが、現在では8,952人と急激な人口減で過疎化が進行しております。白沢営林署が廃止されますと過疎化に拍車をかけることになり地域に及ぼす影響が大きいと考えられます。従いまして市として白沢営林署の存続を求める要望書を、8月21日秋田営林局長に、8月23日には農林水産大臣と林野庁長官に提出し、白沢営林署廃止反対の態度を表明してまいりました。

### <秋田県総合防災訓練の実施について>

同訓練は、秋田県と大館市の共催のもと、当市を会場に行われました。  
ご承知のようにこの訓練は、防災関係機関及び地域住

民参加のもとに、災害の緊急予防、応急対策を迅速、的確かつ総合的に実施できるよう、各種訓練を実施し、防災強化と地域住民の防災思想の高揚を図ることを目的として行われるものでありますが、当市で開かれたのは昭和44年以来9年ぶりであり、とくに今年には宮城県沖地震が発生したことにより、地震も想定にとり入れるなど大規模な総合訓練となり、参加機関、団体は38、参加人員約2,600名におよびました。

幸いにして当日は天候にも恵まれ、訓練参加者の熱意はもちろんのこと、県内各地からおいでになられた参観者、さらには関係各位のご協力によりまして、どこおきなく終了できましたことについて厚くお礼申し上げます。同時に、この訓練を契機として更に防災体制の確立に意を用いてまいりたいと考えます。

### <市立花岡体育館の建設について>

昨年は花矢町と合併して10周年にあたるので、何か記念事業を実施したいと検討してまいりましたが、最終的には体育館建設の結論に達して、同和鉱業株式会社所有の共楽館敷地約9,000平方メートルが立地条件から適地であり、会社のご厚意により無償で借用することに決定した次第です。ご承知のように、花岡地区はスポーツの盛んなところであり、有名選手が輩出しており、スポーツ振興のために、また鉱山不況の折でもあり、地域発展のためにも有意義なことと思っております。その過程でいわゆる共楽館問題などありましたが、解体工事の終了を待って8月14日に着工し、工事は順調に進んでおり年内に完成の予定であります。

時間 午前10時～午後4時・場所 市役所第1会議室・電話(42)1212内224